

話題提供

チ ヨ ン チ ヒ

鄭 知喜 氏

(ソウル大学日本研究所 助教授)

5月20日 (水)

午後 2 時~4 時

大阪公立大学

人権問題研究センター共同研究室

定員 対面 10名

オンライン 100名

事前申込・先着順

無料

ソウル大学日本研究所・大阪公立大学人権問題研究センター交流事業
戦後民主主義の歴史性を考える
.. 占領期放送劇「新しい道」、
冷戦リベラリズム、人権

民主主義は普遍的価値なのか。戦後民主主義の理想とは異なる世界が広がっている現在、戦後民主主義の「虚妄」を批判するよりも、その歴史性を考えてみたい。本報告では、占領期の日米合作教科書『民主主義』のメディアミックスとして、シベリア抑留帰還者の戦後民主主義適応記を描いたNHKの連続放送劇「新しい道」の事例を発掘し、日本のメディアを通じて広まった民主主義概念を検討する。そして、冷戦リベラリズムと「強制や全体主義からの自由」に限定された人権概念が、民主主義の原理として受け入れられた歴史的条件を考察する。

参加希望者は人権問題研究センターのホームページお問い合わせフォームより
前日正午までにご連絡ください。折り返し参加に必要な情報をお知らせします。

(<https://www.omu.ac.jp/orp/rchr/contact/>) 定員に達し次第締め切りとさせていただきます。
お問合せはセンターまで <https://www.omu.ac.jp/orp/rchr/>